かんたん セットアップ

IPSiO CX6600/6100 RICOH

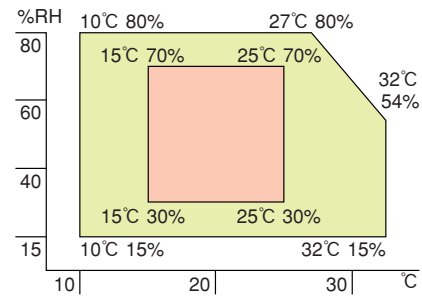
安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「使用説明書＜保守編＞『安全上のご注意』」をお読みください。

1 設置環境、電源・アースを確認する

1 設置環境を確認します。

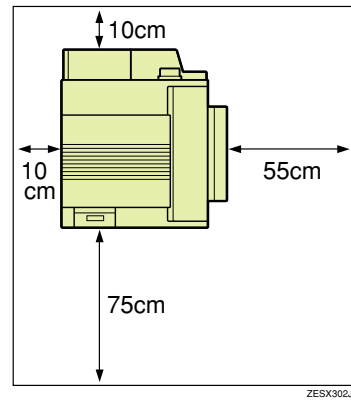
水平でがたつきのない場所を選んで設置してください。

- 設置する台の水平度：前後左右5mm以下

温度や湿度が以下の図で示す範囲におさまる場所に設置してください。

寒い所から暖かい所に移動すると、機械内部に結露が生じることがあります。結露が生じた場合は、1時間以上放置して環境になじませてから設置作業を行ってください。

⚠注意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。

用紙の補給、消耗品の交換、紙づまりの処置などをスムーズに行うために、目安として図のようなスペースを確保してください。

重要

- 故障の原因になりますので、次のような場所に置かないでください。
- 直射日光の当たるところ
- エアコンや暖房機などの温風・ふく射熱が直接当たるところ
- ラジオ・テレビなど、他のエレクトロニクス機器に近いところ
- 高温、高湿、低温、低湿になるところ
- 加湿器の近く

⚠警告

- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

2 電源を確認します。

プリンターの電源は100V、13A以上、50/60Hzの電源を使用してください。

3 アースを確認します。万一漏電した場合の感電や火災を防止するため、アース線を以下のいずれかに接続します。

- コンセントのアース端子
- 接地工事(D種)を行っているアース線

重要

- ガス管や水道管には絶対に接続しないでください。火災やガス爆発の原因になります。

⚠警告

- アース接続してください。アースが接続していないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事者に相談してください。

⚠警告

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- 延長コードの使用は避けてください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

2 同梱品を確認してプリンターを取り出す

この説明書では、IPSiO CX 6100を例にしたイラストを用いて説明しています。基本的な操作方法はIPSiO CX 6600/6100とも同じです。操作方法が異なる箇所はIPSiO CX 6600と6100に分けて説明しています。

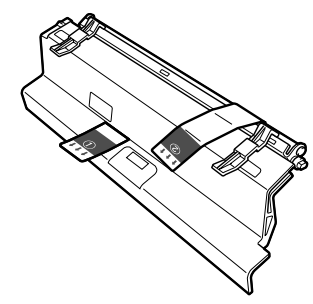
⚠注意

- プリンターを取り出すときは、2人以上で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり乱暴に扱って落としたりするとけがの原因になります。

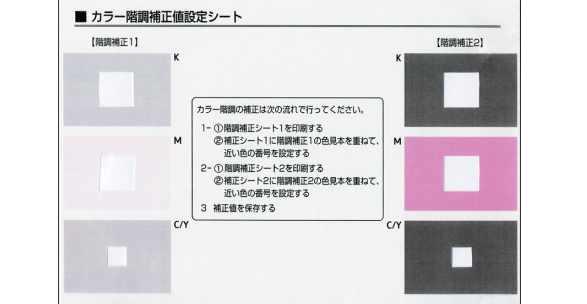
1 梱包箱を開けて同梱品を取り出し、すべて揃っていることを確認します。不足品や不具合があった場合は、購入された販売店までご連絡ください。

重要

- インターフェースケーブルは同梱されていません。ご使用になるパソコンに合わせて、別途ご用意ください。インターフェースケーブルについては「8パソコンとプリンターを接続する」を参照してください。

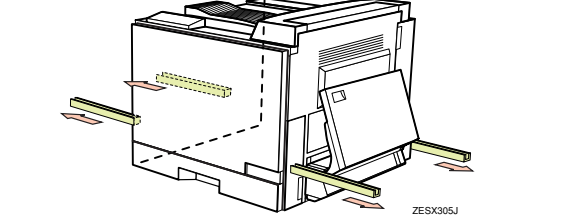
- ☐ 使用説明書の紹介
- ☑ かんたんセットアップ（本書）
- ☐ 使用説明書＜保守編＞
- ☐ 使用説明書＜運用編＞
- ☐ 使用説明書＜オプション設置編＞
- ☐ CD-ROM
- ☐ 現像確認シート
- ☐ マイパンク＆QA登録票（梱包箱上部に貼られています。）
- ☐ お客様登録はがき(仮保証書)
- ☐ 保守契約書
- ☐ リコー製品サービス相談窓口一覧
- ☐ IPSiOコールセンター シール
- ☐ 名刺ケース
- ☐ フェライトコア
- ☐ 定着オイルユニット

- ☐ トレイ段数表示シール

- ☐ 2P電源コード
- ☐ カラー階調補正値設定シート

重要

- カラー階調補正値設定シートは、使用説明書＜保守編＞の最初のページにはさまれています。このシートはカラー階調補正をする際の色見本として使用しますので、変色や色あせを防止するため、光のあたらない場所で保管してください。シートの使い方については、使用説明書＜保守編＞を参照してください。

2 プリンターを覆うビニールを開きます。

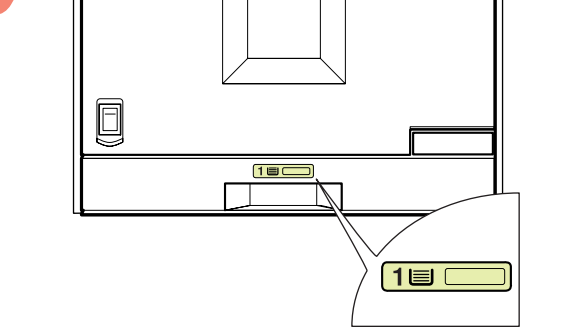
3 プリンターを持ち上げ、設置する場所に移動させます。

本機の側面にある運搬用の取っ手を確実に4本引き出し、2人以上でゆっくりと持ち上げてください。

重要

- プリンターを低い位置に設置するときは、指や服をプリンターに挟み込まないようにしてください。

4 本機の側面から引き出した運搬用の取っ手を4本戻します。

5 本機を固定しているテープと固定材をすべて取り除きます。

6 給紙トレイの前面に、同梱のトレイ段数表示シール「1」を貼ります。

3 固定材を取り除き、現像ユニットをセットする

⚠注意

- 前カバーを開くときは、給紙トレイが引き出されていないことを確認してください。手をはさんでけがをすることがあります。

⚠警告

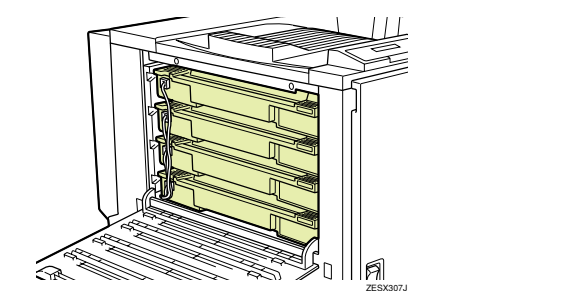
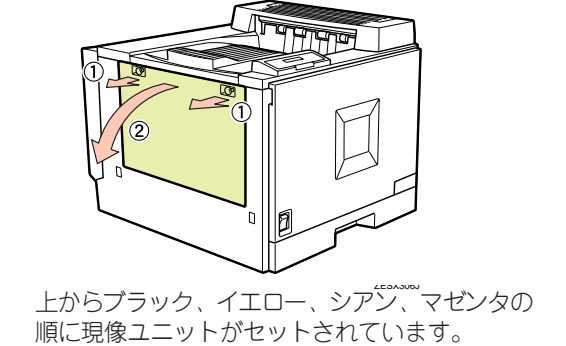
- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

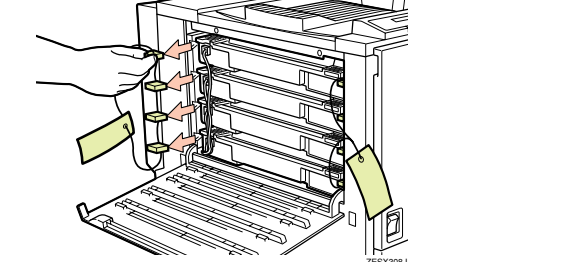
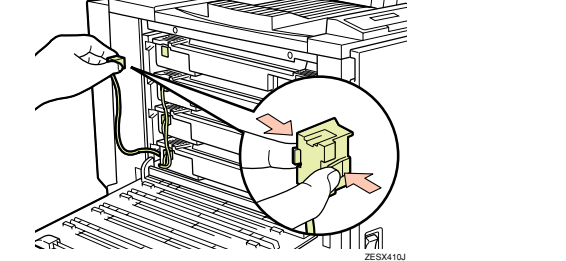
⚠注意

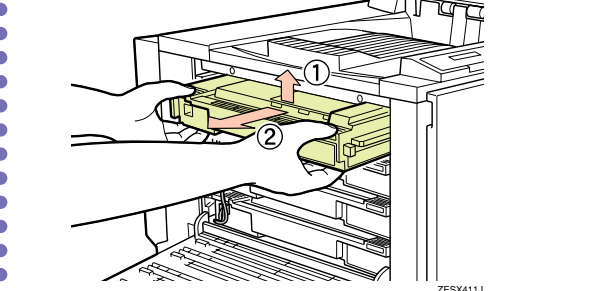
- トナー（使用済みのトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

1 本機の左カバーを開けます。2個の丸いつまみを引いて(①)、左カバーを開けます(②)。

2個の丸いつまみは取り外せません。

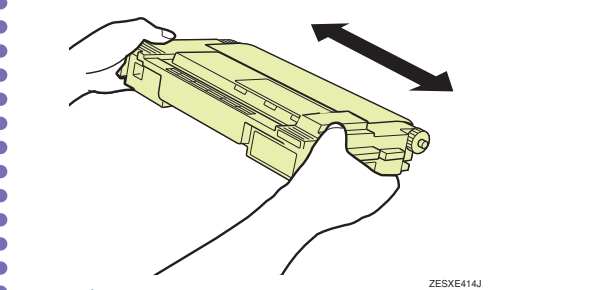
上からブラック、イエロー、シアン、マゼンタの順に現像ユニットがセットされています。

2 赤札の付いている固定材をすべて取り除きます。

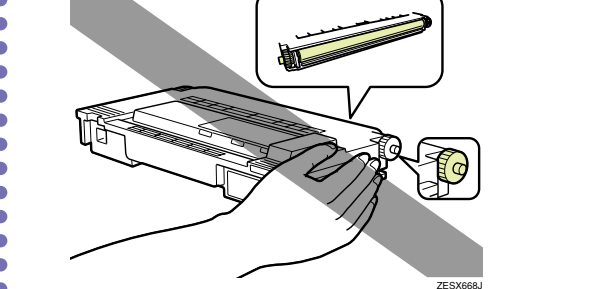
固定材は4個ずつ針金で繋がれ、合計8個あります。固定材の部分を持って上から順番に一つずつ取り除いてください。

3 現像ユニットに接続されている4個所のコネクターを上から順番に外します。両端をつまみながら引き抜きます。

4 現像ユニットを図のように両手で持ち、少し持ち上げながら(①)、ゆっくりと引き抜きます(②)。

補足

- ここでは、現像ユニットブラックの取り出し方法を例に説明しています。他の色の現像ユニットを取り出す場合も同様の手順です。
- 現像ユニットのセットは1色ずつ行ってください。

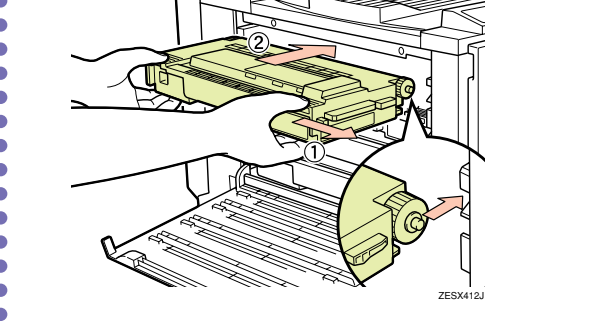
重要

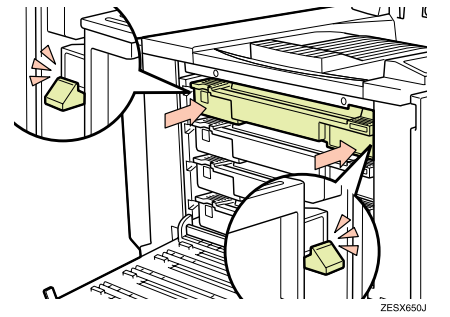
- 必ず両手で持ち、ゆっくりと引き抜いてください。

5 現像ユニットを図のように水平に10回ほど振ります。

重要

- 現像ユニットは水平に振ってください。
- 周りにぶつけるなど、現像ユニットに衝撃を与えないよう、ご注意ください。
- 振りかたが足りないと、「7テスト印刷をする」の初期調整に時間がかかる場合があります。
- 下の図に示すローラーとギア部分には、手を触れないでください。

6 現像ユニットをガイドに沿って差し込み、少し持ち上げながら図の矢印(①)の方向に力を加え、ゆっくりと奥まで押し込みます(②)。

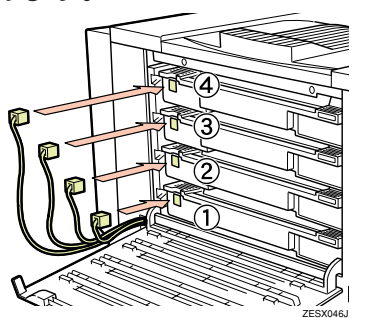
裏へつづく

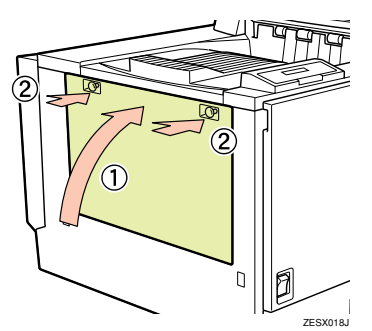
2003年5月　G100-8502

補足
❒ ここでは、現像ユニットブラックのセット方法を例に説明しています。他の色の現像ユニットのセット方法も同様の手順です。
❒ セットした現像ユニットを再度押し込むと少し戻る感触がありますが、正しくセットされています。

7 **現像ユニット前面に貼られているラベルを確認して、現像ユニットがつめにしっかりと掛かっていることを確認します。**

つめの部分から白いラインがはみ出している場合は、手順6をもう一度やり直してください。

重要
❒ 現像ユニットがきちんとセットされていないと、一部の色が抜けた画像が印刷されるなど、印刷品質に影響しますのでご注意ください。

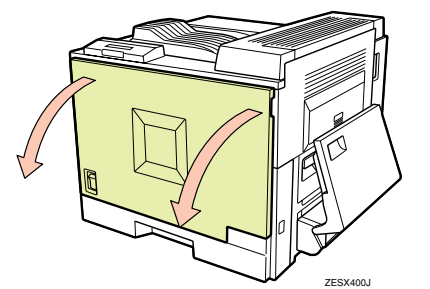
8 **手順4～手順7を繰り返して、4個すべての現像ユニットをセットします。**

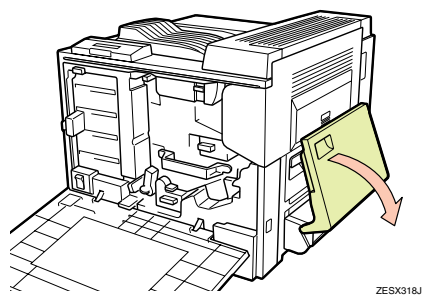
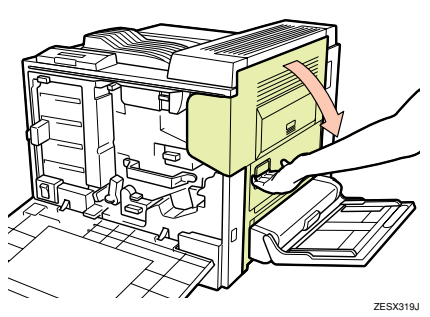
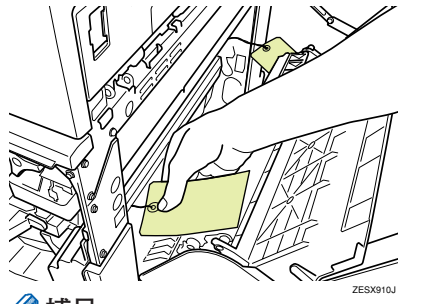
9 **コネクターの短いものから、下から順番に接続します。カチッというまで押し込みます。**

重要
❒ 4個所のコネクターがすべて接続されていることを確認してください。コネクターを接続しないで電源を投入すると故障の原因になります。

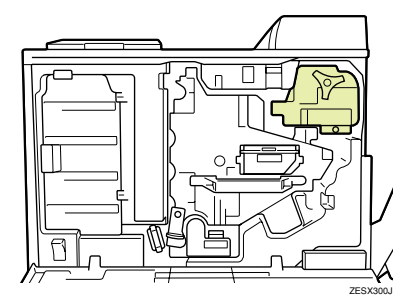
10 **本機の左カバーを閉めます。左カバーを起こして(①)、2個の丸いつまみをカチッというまで押し込みます(②)。**

4 定着オイルユニットをセットする

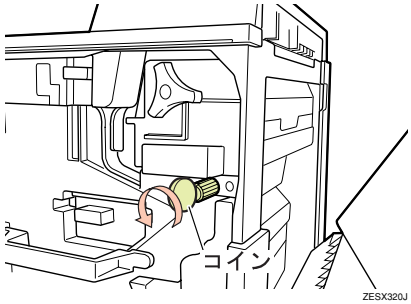
定着オイルユニットは、プリンターの上に載せて梱包されています。

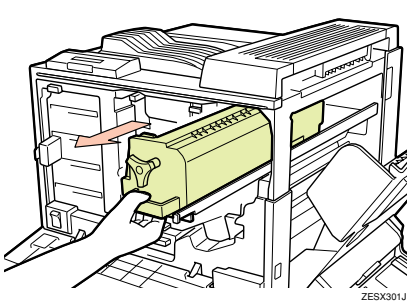
注意
• 定着ユニットは急激に引き出さないでください。落下して、けがの原因になります。

1 **本機の前カバーを開けます。**

2 **固定材を取り除きます。**

3 **IPSiO CX 6600をご使用の場合は、手差しトレイ(マルチ)を開きます。**

4 **レバーを引いて、本機の右カバーを開けます。**

5 **図のように赤い札を持ち、固定具を引き抜きます。**

補足
❒ 固定具は左右2個所についています。

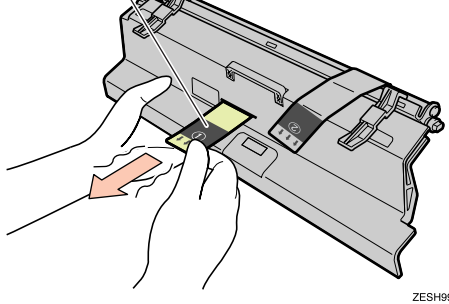
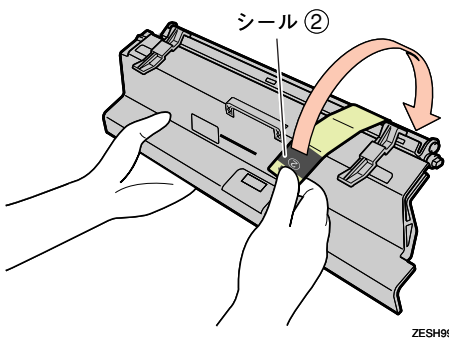
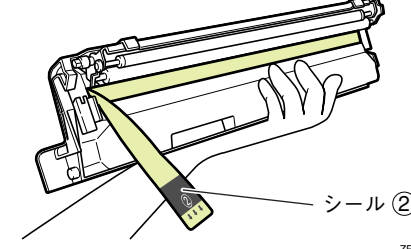
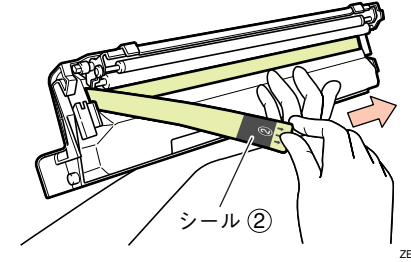
定着オイルユニットは、図の位置にセットされている定着ユニットの上部に取り付けます。

6 **定着ユニットを固定している緑色のコインねじを、手応えが軽くなるまで緩めます。**

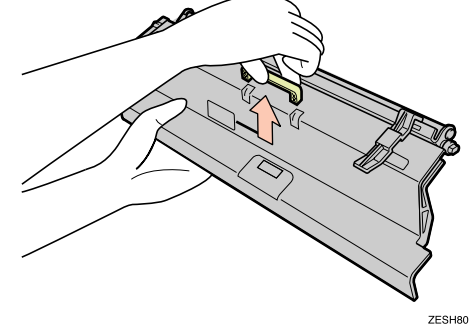
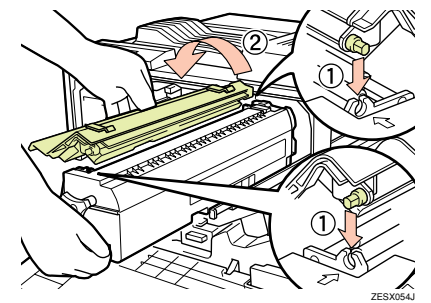
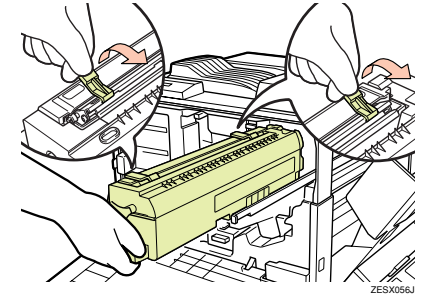
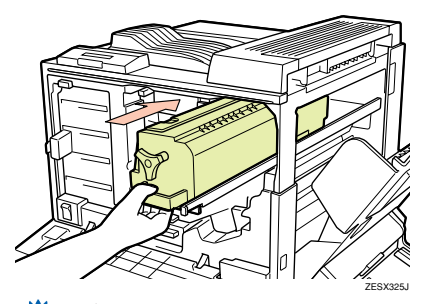
きつく締まっていますので、コインなどを使って緩めてください。
このコインねじは取り外せません。

7 **取っ手を持ち、定着ユニットを止まるまで手前に引き出します。**

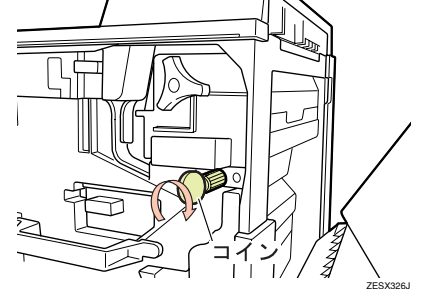
定着ユニット全体が見えるまで、ゆっくりと引き出して下さい。

8 **定着オイルユニットを準備します。**

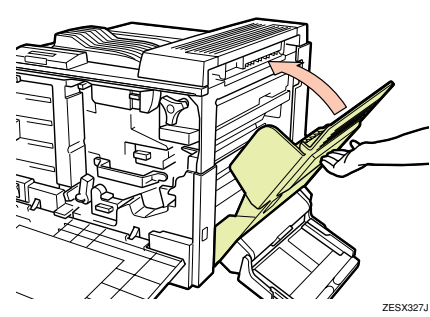
❶ 保護紙を取り外します。
❷ 定着オイルユニットを左手に持ち、シール①を左右に振りながら引き抜きます。

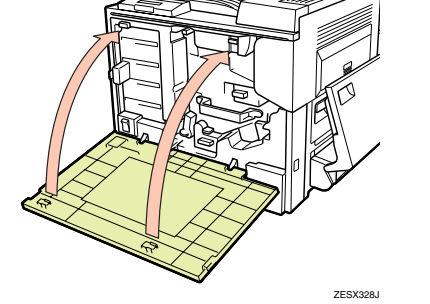
重要
❒ シールをはがした部分と、はがしたシールにはオイルが付着しています。手や衣服などに触れないようご注意ください。

補足
❒ 引き抜けないときは、強く引っ張ってください。

❸ 定着オイルユニットの裏側に向かってシール②をはがします。

❹ 定着オイルユニットを左手に持ったまま、裏返します。

❺ 下図のように、シール②をゆっくりとはがします。
図に示されている黄緑色の部分がすべてシール②です。途中で切れないように、すべてはがします。

重要
❒ シールは必ずはがしてください。シールをはがさずにセットすると、故障の原因になります。
❒ シールをはがした部分と、はがしたシールにはオイルが付着しています。手や衣服などに触れないようご注意ください。

❻ 固定具を取り外します。

9 **定着オイルユニットの緑色のシールが貼られている部分を持ち、定着オイルユニットの軸を、定着ユニットの金属製のホルダーに差し込み(①)、定着オイルユニットを矢印の方向に動かして(②)、しっかりとセットします。**

10 **定着オイルユニットに付いている赤色の固定具をテープと一緒に2つ外します。**

11 **取っ手を持ち、定着ユニットをゆっくりと奥まで押し込みます。**

重要
❒ 定着ユニットは強く押し込まないでください。故障の原因になります。

12 **緑色のコインねじを締めて定着ユニットを固定します。コインねじが完全に止まるまで、コインなどを使ってきつく締めてください。**

13 **本機の右カバーを閉めます。**

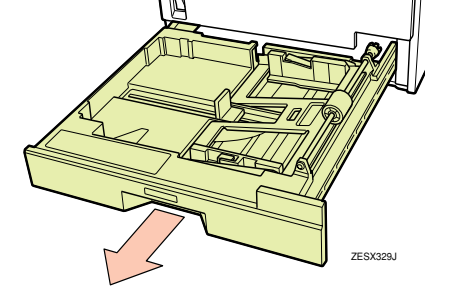
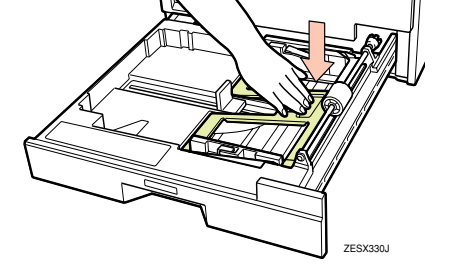
「PUSH」を押してしっかり閉めてください。

14 **IPSiO CX 6600をご使用の場合は、手差しトレイ(マルチ)を閉じます。**

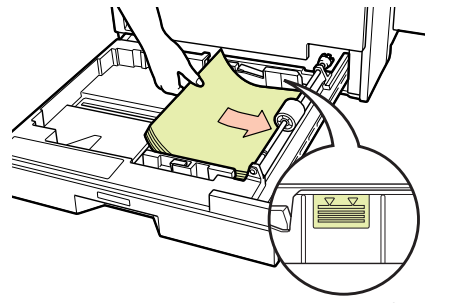
15 **本機の前カバーを閉めます。**

5 用紙をセットする

注意
• 給紙トレイは急激に引き出さないでください。給紙トレイが落下して、けがの原因になります。

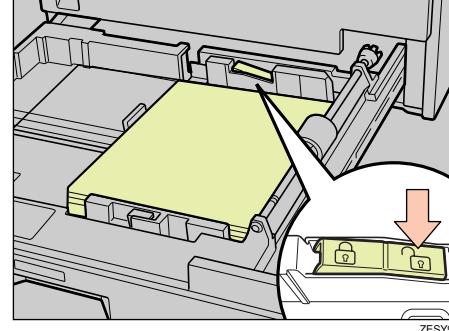
工場出荷時、用紙を固定するサイドフェンスとエンドフェンスはA4サイズに設定されています。ここでは設定を変えずにA4サイズの用紙をセットする手順を説明します。

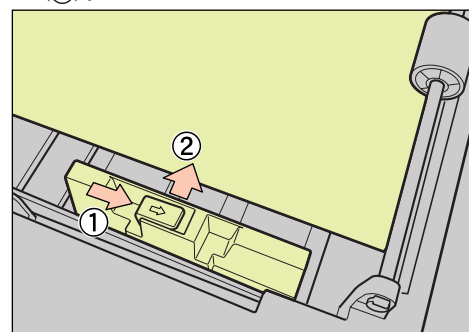
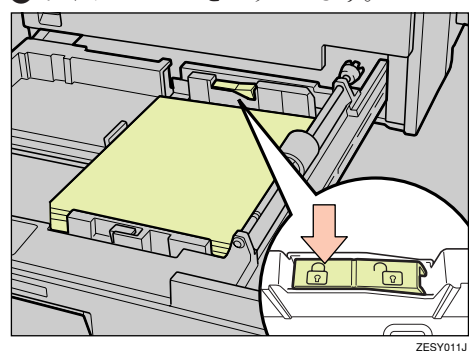
補足
❒ A4サイズ以外の用紙をセットする場合は、使用説明書<運用編>「用紙について」を参照してください。セットできる用紙と向きについても同章を参照してください。
❒ IPSiO CX 6600の手差しトレイに用紙をセットする場合は、使用説明書<運用編>「用紙について」を参照してください。

1 **給紙トレイを止まるまでゆっくり引き出します。**

2 **「Push」を押して底板を下げます。**

3 **印刷する面を上にして、用紙を揃えてセットします。**

セットする用紙の量は、トレイ内に示された上限表示を超えないようにしてください。

4 **サイドフェンスと用紙の間に隙間がないことを確認します。**

隙間がある場合は、以下の手順でサイドフェンスの位置を調整します。

❶ サイドフェンスのロックを解除します。

かんたんセットアップ 2/2へつづく

❷ サイドフェンスの緑色のレバーを押しながら(①)、セットした用紙との間に隙間ができない位置までサイドフェンスを移動させます(②)。

❸ サイドフェンスをロックします。

重要

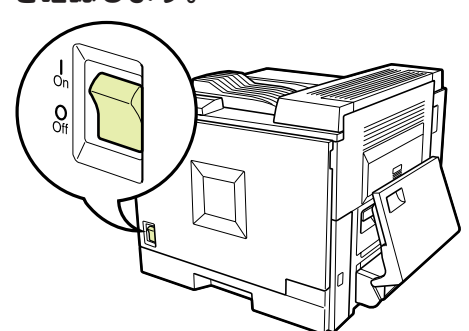
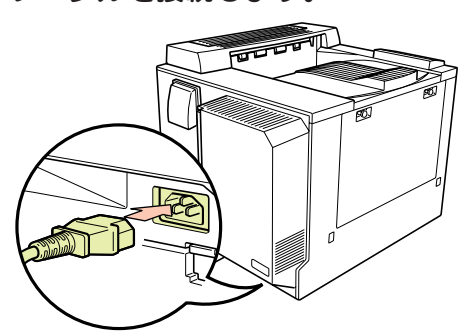
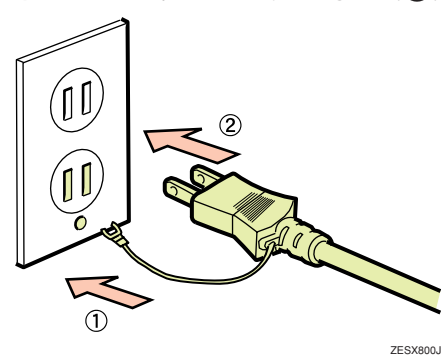
- ❒ サイドフェンスとエンドフェンスがしっかり固定されていることを確認してください。
- ❒ 種類の違う用紙を給紙トレイに混在させないでください。

5 **給紙トレイを閉めます。きちんとセットされるまで押し込んでください。**

重要

- ❒ 給紙トレイは奥まで確実にセットしてください。前カバーとの干渉や紙づまりの原因になります。

6 電源ケーブルを接続する

1 **電源スイッチがOFFになっていることを確認します。**

2 **背面右下の電源コネクターに、電源ケーブルを接続します。**

3 **アース線を接続し(①)、次に電源プラグをコンセントに差し込みます(②)。**

重要

- ❒ 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- ❒ 電源プラグを差し込んだり抜いたりするときは、プリンターの電源スイッチを切ってから行ってください。

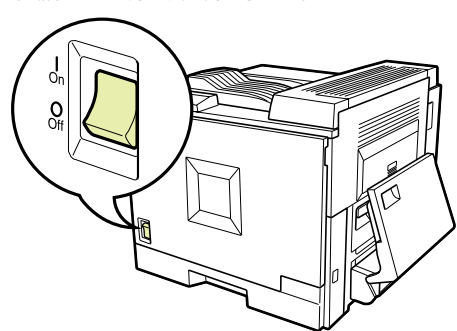
⚠警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

7 テスト印刷をする

プリンターが正常に印刷できることをテスト印刷で確認します。テスト印刷は、本機の動作を確認するもので、パソコンとの接続状態を確認するものではありません。

ここでは、システム設定リストを印刷します。

1 **本機の電源を入れます。**

操作パネルのディスプレイに次のメッセージが表示され、約15分間、初期調整が行われます。完了するまでお待ちください。

```
セットアップチュウ
[＞　　　　　]
```

```
セットアップチュウ
[＞＞＞　　　]
```

```
セットアップチュウ
[＞＞＞＞＞＞]
```

初期調整が完了すると、操作パネルのディスプレイに次のメッセージが表示され、電源ランプとオンラインランプが点灯します。

```
インサツデ゛キマス
RPCS
```

2 **【メニュー】キーを押します。**

メニュー画面が表示されます。

```
＜メニュー＞
ヨウシセッテイ
```

3 **【▲】または【▼】キーを使用して「テストインサツ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
＜メニュー＞
テストインサツ
```

テスト印刷する内容を選択する画面が表示されます。

4 **【▲】または【▼】キーを使用して「システムセッテイリスト」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
＜テストインサツ＞
1．システムセッテイリスト
```

次の画面が表示されシステム設定リストが印刷されます。

```
インサツチュウデ゛ス
```

重要

- ❒ 正常に印刷できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されていないかを確認してください。表示されている場合は、使用説明書＜運用編＞「こんなときには」を見てエラーの対処をしてください。

5 **【オンライン】キーを押します。**

通常の画面に戻ります。

```
インサツデ゛キマス
RPCS
```

6 **【メニュー】キーを押します。**

正しく設置できたかを確認するため、確認シートを印刷する手順を行います。
メニュー画面が表示されます。

7 **【▲】または【▼】キーを使用して「チョウセイ/カンリ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
＜メニュー＞
チョウセイ／カンリ
```

調整/管理メニューが表示されます。

8 **【▲】または【▼】キーを使用して「ゲンゾウ セットカクニン」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
＜チョウセイ／カンリ＞
ゲ゛ンゾ゛ウ　セットカクニン
```

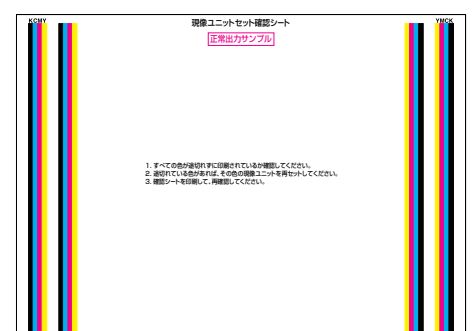
確認のメッセージが表示されます。

```
カクニンシートヲ　インサツシマス
OKキーヲ　オシテクダ゛サイ
```

9 **【OK】キーを押します。**

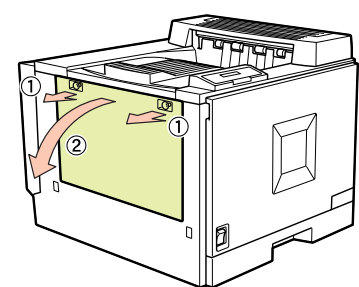
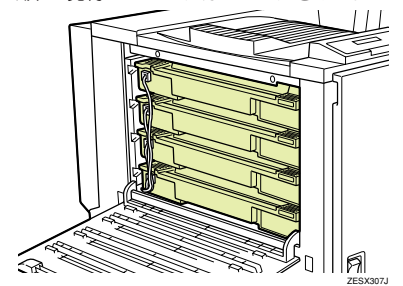
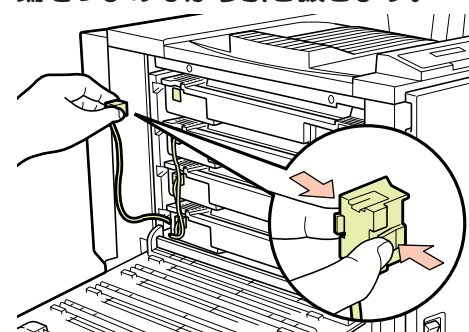
確認シートを印刷します。

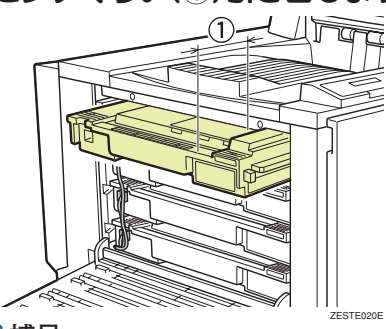
10 **印刷された確認シートで、各色の印刷状態を確認します。**

途切れたり、かすれたりしている色がなければ正常です。この場合は、「8 パソコンとプリンターを接続する」に進みます。

同梱されている現像確認シートは正常な印刷のサンプルです。印刷状態を比較して、途切れたり、かすれたりしている色があれば、本機の電源を切り、以下の手順に従い、途切れたり、かすれたりしている色の現像ユニットをセットしなおしてください。

サンプル通りに確認シートが出力されなかったとき

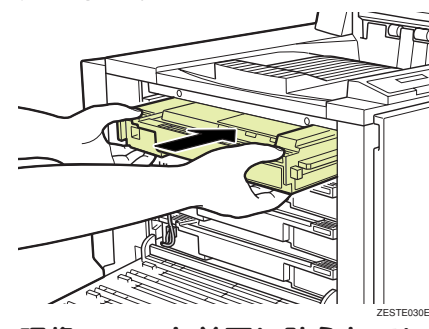
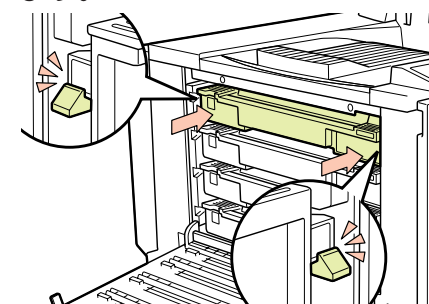
1 **本機の左カバーを開けます。2個の丸いつまみを引いて(①)、左カバーを開けます(②)。**

2個の丸いつまみは取り外せません。

上からブラック、イエロー、シアン、マゼンタの順に現像ユニットがセットされています。

2 **現像ユニットに接続されている4個所のコネクターを上から順番に外します。両端をつまみながら引き抜きます。**

3 **現像ユニットを少し持ち上げながら、3センチくらい(①)引き出します。**

補足

- ❒ ここでは、現像ユニットブラックの取り出し方法を例に説明しています。他の色の現像ユニットを取り出す場合も同様の手順です。

重要

- ❒ 必ず両手で持ち、ゆっくりと引き抜いてください。

4 **現像ユニットをゆっくりと奥まで押し込みます。**

5 **現像ユニット前面に貼られているラベルを確認して、現像ユニットがつめにしっかりと掛かっていることを確認します。**

6 **コネクターをカチッというまで押し込んで接続します。**

7 **手順6～10に従い、印刷された確認シートで、各色の印刷品質を確認します。**

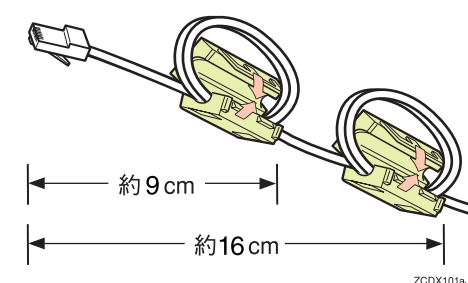
重要

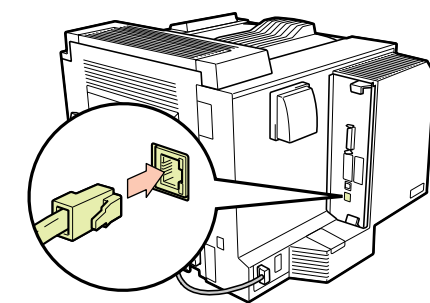
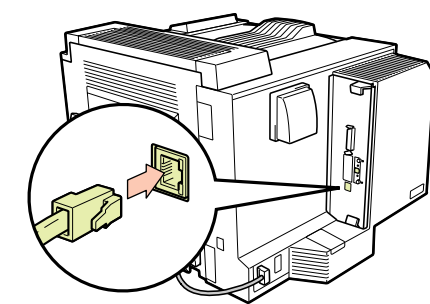
- ❒ セット直後は、印刷物の光沢が粒状にむらになることがありますが、この状態は異常ではありません。10～20枚ほど印刷すれば、なくなります。

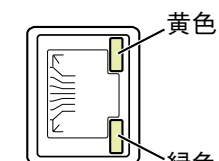
8 パソコンとプリンターを接続する

イーサネットケーブルで本機とネットワークを接続する場合

1 **本機の電源を切ります。**

2 **本機にはEthernet用インターフェースケーブルに取り付ける2個のコアが同梱されています。ケーブルのプリンター本体側のコネクターから約9cmと約16cmの位置に、図のような2重の輪を作り、コアを取り付けます。**

3 **本体背面のコネクターに、イーサネットケーブルを接続し、もう一方をHUB(ハブ)などのネットワーク機器に接続します。**

● IPSiO CX 6600の場合

● IPSiO CX 6100の場合

4 **本機の電源を入れます。**

5 **イーサネットケーブルを接続した本体背面のコネクターのランプ(LED)を確認します。**

黄色は、100BASE-TX動作時は点灯し、10BASE-T動作時は消灯します。

緑色は、ネットワークに正常に接続している場合に点灯します。

6 **「9 操作パネルから設定する」に進みます。**

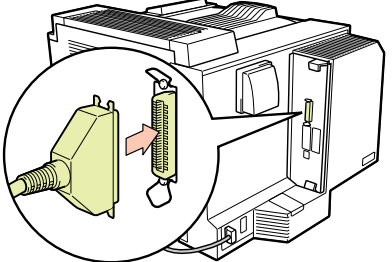
パラレルケーブルで本機とパソコンを接続する場合

重要

- ❒ インターフェースケーブルは同梱されていません。ご使用になるパソコンに合わせて、別途ご用意ください。
- ❒ インターフェースケーブルをお買い求めの際は、使用説明書＜システム設定編＞「付録」の「関連商品一覧」を参照してください。
- ❒ 電源障害を起こすことがありますので、インターフェースケーブルは、シールドケーブルをお使いください。

1 **本機とパソコンの電源を切ります。**

裏へつづく

2 インターフェースコネクターにパラレルケーブルを接続して両側の金具で固定し、もう一方をパソコンのインターフェースコネクターに接続します。

3 本機とパソコンの電源を入れます。

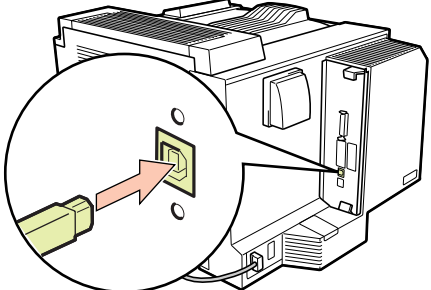
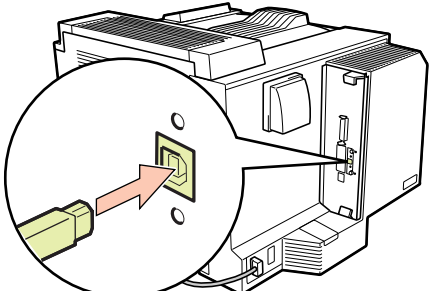
4 「10 ソフトウエアをインストールする」に進みます。

USBケーブルで本機とパソコンを接続する場合

1 本機とパソコンの電源を切ります。

2 本機背面のコネクターにUSB ケーブルの小さい方のコネクターを接続し、もう一方をパソコンのインターフェースやUSB ハブなどに接続します。

USB ケーブルはご使用になるパソコンに合わせて別途お買い求めください。
ケーブルについて詳しくは、使用説明書＜システム設定編＞「関連商品一覧」を参照してください。

●IPSiO CX 6600 の場合

●IPSiO CX 6100 の場合

3 パソコンの電源を入れます。

4 本機の電源を入れます。

補足

❒ USB接続は、Windows 98SE/Me、Windows 2000/XP/Server 2003、MacOS 9.x、MacOS Xに対応しています。
- Windows 98SE/Meのサポート速度はUSB1.1相当です。
- Macintoshでは本体標準のUSBポートのみ対応しています。

5 Windows 98SE/Meの場合は、USB Printing Supportとプリンタードライバーをインストールします。Windows 2000/XP/Server 2003の場合はプリンタードライバーをインストールします。

それぞれのインストール方法は、使用説明書＜クライアント編＞「USBインターフェースを使う」を参照してください。

9 操作パネルから設定する

本機をネットワークに接続したときは、使用するネットワーク環境に応じて必要な項目を操作パネルで設定します。

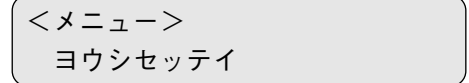
ネットワーク設定メニューで設定できる項目と工場出荷時の値は以下のとおりです。

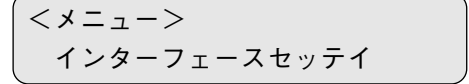
項目名	工場出荷時
1.DHCP	Off
2.IPアドレス	011. 022. 033. 044
3.サブネットマスク	000. 000. 000. 000
4.ゲートウェイアドレス	000. 000. 000. 000
5.NWフレームタイプ	自動選択
6.有効プロトコル	すべて有効
7.イーサネット速度	自動設定

ここでは、TCP/IPプロトコルを使用する設定を説明します。その他の接続をご使用の場合は、使用説明書＜クライアント編＞を参照してください。

1 【メニュー】キーを押します。

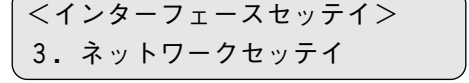
メニュー画面が表示されます。

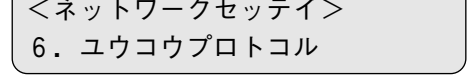
```
＜メニュー＞
 ヨウシセッテイ
```

2 【▲】または【▼】キーを押して「インターフェースセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

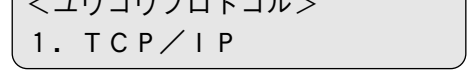
```
＜メニュー＞
 インターフェースセッテイ
```

インターフェース設定項目を選択する画面が表示されます。

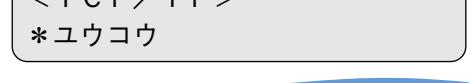
3 使用するプロトコルを有効にします。

❶【▲】または【▼】キーを押して「ネットワークセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
＜インターフェースセッテイ＞
3. ネットワークセッテイ
```

❷【▲】または【▼】キーを押して「ユウコウプロトコル」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
＜ネットワークセッテイ＞
6. ユウコウプロトコル
```

❸【▲】または【▼】キーを押して使用するプロトコルを表示させ、【OK】キーを押します。

```
＜ユウコウプロトコル＞
1. TCP／IP
```

❹【▲】または【▼】キーを押して「ユウコウ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
＜TCP／IP＞
＊ユウコウ
```

補足

❒ 現在の設定値を示す項目の左側には「＊」が表示されます。

約2秒後に有効プロトコルを設定する画面に戻ります。

❺使用するプロトコルを続けて設定します。

❻有効にするプロトコルの設定が終了したら【戻る】キーを押します。

ネットワークの設定項目を選択する画面が表示されます。

補足

❒ 工場出荷時の設定はすべて「有効」に設定されています。
❒ ご使用にならないプロトコルは「無効」にすることを推奨します。

4 工場出荷時はDHCPが無効になっています。DHCP環境で本機をお使いになる場合、手順5にお進みください。固定したIPアドレスで本機をお使いになる場合、手順6にお進みください。

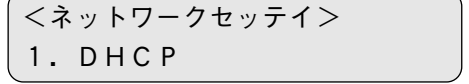
重要

❒ DHCPが有効になっていると、以下の設定を行うことができません。
- IPアドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイアドレス

ネットワーク設定について詳しくは、ネットワーク管理者に確認してください。

5 DHCPを有効に切り替えます。

❶【▲】または【▼】キーを押して「1.DHCP」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
＜ネットワークセッテイ＞
1. DHCP
```

❷【▲】または【▼】キーを押して「On」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
＜DHCP＞
＊On
```

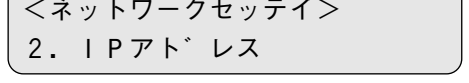
❸手順8にお進みください。

6 プリンターに割り当てるIPアドレスを設定します。

補足

❒ 設定するIPアドレスはネットワーク管理者に確認してください。

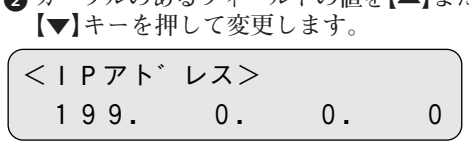
❶【▲】または【▼】キーを押して「IPアドレス」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
＜ネットワークセッテイ＞
2. IPアドレス
```

現在設定されているIPアドレスが表示されます。

補足

❒ 変更の必要がないときは【OK】キーを押すと次のフィールドに移動します。
❒ 【▲】または【▼】キーを押し続けると値が10ずつ変わります。

❷カーソルのあるフィールドの値を【▲】または【▼】キーを押して変更します。

```
＜IPアドレス＞
 199.  0.  0.  0
```

❸【OK】キーを押します。

フィールドに値が入力され、次のフィールドにカーソルが移動します。

❹❷〜❸を繰り返し、すべてのフィールドに値を入力して、【OK】キーを押します。

7 「2.IPアドレス」の設定と同様の手順で、「3.サブネットマスク」と「3.ゲートウェイアドレス」の設定をします。

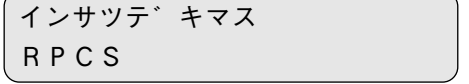
重要

❒ サブネットマスクとは、IPアドレスの一部をネットワークアドレスとして使用するためのマスク値です。設定する値はネットワーク管理者に確認してください。
❒ ゲートウェイアドレスとは、別のネットワークのワークステーションとのやり取り(印刷や情報の取得)を行うとき、ゲートウェイとなるホストやルータのアドレスです。設定する値はネットワーク管理者に確認してください。

補足

❒ 設定するアドレスがわからないときは、工場出荷時の設定のままご使用ください。

8 すべての設定が終了したら、【オンライン】キーを押します。

```
インサツデ キマス
RPCS
```

通常の画面に戻り、設定した項目が有効になります。

9 システム設定リストを印刷して設定した内容を確認します。

システム設定リストの印刷方法については、

「7 テスト印刷をする」を参照してください。

10 ソフトウェアをインストールする

同梱のCD-ROMから簡単にソフトウエアをインストールすることができます。

[おすすめインストール]ボタンをクリックすると、RPCSプリンタードライバーがパソコンにインストールされ、IPSiO CX 6600/6100が使用できる状態になります。

TCP/IPの場合、Ridoc IO Naviもインストールされます。

必要な条件は以下のとおりです。

- OSがWindows 95/98/Me、Windows 2000/XP/Server 2003、またはWindows NT 4.0である。

また、TCP/IPの場合に必要な条件は以下のとおりです。

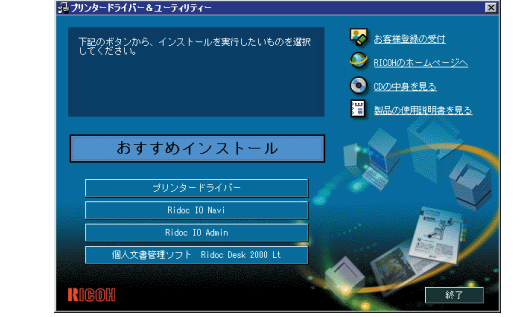
- イーサネットケーブルで本機とネットワークが接続されている。
- TCP/IPプロトコルが設定されている。
- 本機とパソコンにIPアドレスが設定されている。

補足

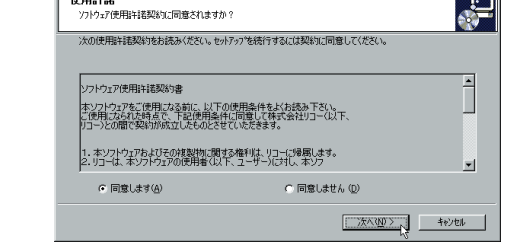
❒ 上記以外に、TCP/IPでIEEE 1394および無線LANを使用することができます。IEEE 1394および無線LANについては、使用説明書＜オプション設置編＞を参照してオプションボードの設置と本機の設定を行い、使用説明書＜クライアント編＞を参照してプリンタードライバーをインストールしてください。

おすすめインストール

1 パソコンのCD-ROMドライブに同梱のCD-ROMを挿入します。

インストーラーが起動し、次の画面が表示されます。

2 [おすすめインストール]をクリックします。

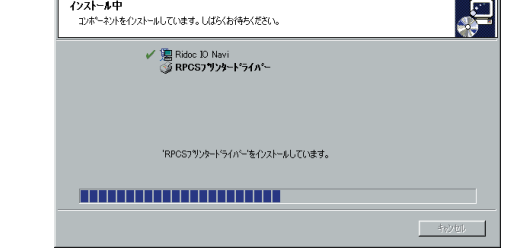
[使用許諾]ダイアログが表示されます。

3 ソフトウエア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ]をクリックします。

4 [プリンタ名]をクリックし、使用する機種を選択します。

補足

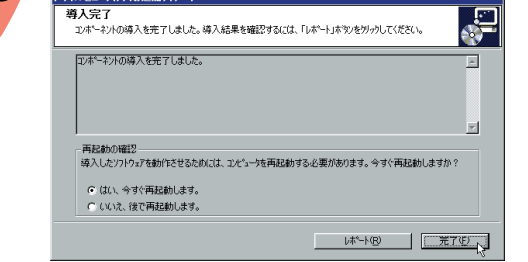
❒ TCP/IPの場合、[接続先]にIPアドレスが表示されているプリンターを選択します。
❒ パラレル接続の場合、[接続先]にプリンターポートが表示されているプリンターを選択します。

5 [インストール]をクリックします。

次の画面が表示され、プリンタードライバーがインストールされます。

導入完了ダイアログ画面が表示されます。

補足

❒ TCP/IPの場合で、[接続]にIPアドレスが表示されているプリンターを選択すると、Ridoc IO Naviもインストールされます。
❒ Windows 2000の場合、インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」というメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい]をクリックしてインストールを続行してください。

6 [完了]をクリックします。

補足

❒ ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

7 最初の画面で[終了]をクリックし、CDを取り出します。

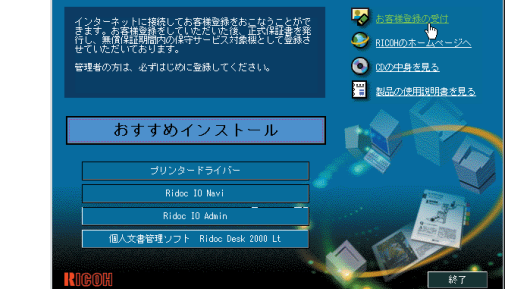
これでインストールは終了です。

お客さま登録

インターネットでお客さま登録をすることができます。

補足

❒ インターネットに接続している場合に利用できます。

1 [お客様登録の受付]をクリックします。

ご使用のブラウザが起動し、お客様登録のページが表示されます。

2 ページ内の指示に従って登録します。

3 登録終了後、ブラウザを終了します。

4 [終了]をクリックし、CDを取り出します。

これでお客様登録は終了です。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についての消耗品のご注文や修理、製品の操作方法に関するお問い合わせはお買い上げの販売店、または最寄りのサービス実施店にご相談ください。
修理については、修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。
転居の際は、販売店またはサービス実施店にご相談ください。転居先の最寄りの販売店、サービス実施店をご紹介いたします。

プリンター機能の操作方法に関するお問い合わせは、
「リコープリンターコールセンター　IPSiO ダイヤル」にご連絡ください。

0120 FreeDial 0120-56-1240（コールはイプシオ）
●受付時間：9〜12時、13〜17時（土、日、祝祭日、リコーの休業日を除く）

株式会社リコー
東京都港区南青山1-15-5　リコービル 〒107-8544
Tel:(03)3479-3111（代表）

Printed in China　2003年5月　G100-8502